大阪府立都島工業高等学校　応用化学科・工業化学科・理数工学科　同窓会

Annual 舎密会

編集人　藤原　啓治（工化 S45）　都工・理数工学研究室　大阪市都島区善源寺町1丁目5-64（事務局）

ご挨拶



工業化学科昭和45年卒業
会　長　**藤原　啓治**

会員の皆様方、会報が届く頃には初夏の過ごしやすい季節になっていることでしょう。本誌浪速工業会報作成に関わっていると、舎密会報にまで手が回らなくなり薄っぺらいものになっていました。今年は応援していただけるスタッフが増え、4ページカラーで発行することができました。

情報量も増やし、もっと舎密会、理数工学科、そして浪速工業会に興味を持ち参加してくださいますようお願いします。まずはクラス会からで結構です。

新会員になられた卒業生の皆様　おめでとうございます。成人(18歳)としていろいろな制約がなくなり、責任を持った行動を行って下さい

本年も舎密会としては、会員懇親会しか予定できておりませんが、浪速工業会行事、母校の体育祭、文化祭などコロナ前と同じになっていますので、クラス仲間と声を掛け合い、参加することを考えてください。

大阪府立都島工業高等学校となりましたが、理数工学科は今年も定員割れとなりましたが、優秀な生徒が入っていると聞いています。OBとして中学の後輩に声をかけ理数工学科希望者を増やしていきたいと思っています。また舎密会としても応援していきます。

最後に会員の皆様には在校生や新入会員への支援活動と舎密会、浪速工業会、発展の為、引き続き年会費の納入・広告他ご援助賜りたく　なにとぞ　よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康・ご多幸をお祈りしご挨拶とさせて頂きます。



2025年（令和7年度）　懇親会

日　時：令和7年8月30日（土）
　　午後6時　開始
会　場：天満橋　錦城閣
住　所：大阪市中央区天満橋京町1−1
　　大阪キャッスルホテル 3F
電　話：06−6941−2185
会　費：一　　般　　8，000円
　　女性・令和2年から令和6年卒
　　6，000円
　　令和7年卒　　2，000円

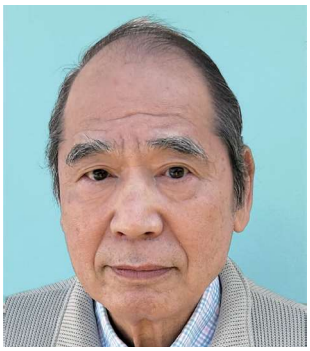
交通のご案内



出欠の返事は同封の浪速工業会行のハガキ表面に有ります出欠欄に
○印を付けてご投函くださいますようよろしくお願いします。

恩師の声

～あの頃を振り返って／理数工学科一期生とともに～



新井　克仁

（在職期間：平成元年4月～平成16年3月）

入学式当日のホームルームでは、理数工学科一期生の前にして担任としての責任を重く感じる一方で、「目の前にいるこの生徒たちと共に道を拓いていく」という期待感から、心が高揚したことを鮮明に覚えています。進学を目指す工業科を標榜し、その進路指導には不安や緊張が伴いましたが、まるで真っ白な雪原を歩んでいるかのような心境でした。ホームルームでは、整然とした空気の中、更に気の引き締まる思いで臨む一年目でした。

徐々に進路に向けた進学模擬試験、危険物取扱者やシステムアドミニストレーター、公害防止管理者などの資格試験、さらに放課後の進学補講などの取り組みを実施しました。これらの補講においては、生徒たちがやればやるほどどんどん吸収しようとする姿勢が非常に頼もしく感じられました。これは一期生の自負心によるものだったのでしょう。

学校生活全般においては、遠足、体育祭、文化祭など、私たち教師も生徒と共に楽しむことができました。エピソードとしては、修学旅行での夜回りと称して、静かに寝ていた部屋に夜襲をかけた時のことを苦笑交じりに思い出します。今振り返ってみると、あっという間に二年間が過ぎ、まとめの一年間でどのような足跡を残せるのか想像すらできなかったです。

工業科の教師として暗中模索の進路指導でしたが、就職、進学において成果を残したことは、次に続く後輩たちにとってさらなる目標を掲げる指標となったと確信しています。不安を抱きつつ歩み始めた理数工学科ですが、卒業生の君たちのお陰で30年以上の時を刻むことができたことに深く感謝します。本当に、都工に来てくれてありがとう！



卒業生の声

～理数工学科を卒業して30年／在学生の皆様へ～



立花　徹

（理数工学科1期生　平成7年卒）

理数工学科1期生、平成7年卒の立花徹です。現在、パナソニック株式会社で、照明に関する事業企画や新事業開発に挑戦しております。私が、理数工学科を志望したきっかけは学科紹介パンフレットでした。中学生ながら、魅力的な学科だなと思い、志望しました。

理数工学科時代は、いろんな地区から入学してくるので、多様な仲間に囲まれ、楽しい学校生活でした。また、成績はあまり良いほうではなかったですが、実験は好きで、慣れない薬品や器具を使い、ノートを取り、実験レポートは必死にやっていた記憶があります。そのおかげで、化学が得意な科目となりました。

化学は大学受験にも活かせ、浪人を経て、関西大学工学部材料工学科に入学。大学時の頑張ったことも、実験レポート作成でした。研究室に入った後、もう少し研究がしたいと思い、大学院受験を決意。大学院試験で、実験のアプローチの問う問題があり、びっしりと書けたおかげで、京都大学大学院へ進学。今、振り返ると高校の実学があったから、大学院にも進学できたと思っています。

パナソニックでの学生インターンを経て、照明の事業部に入社。入社すぐの5年間は、技術者として、設備立上げ、材料設計、工場の工程設計などに従事。その後、海外事業部門からタイとインドの5年間の駐在生活を経て、現職となります。いろんな職種を経験しましたが、どんな仕事であれ、普遍的な考え方やアプローチがあり、どんな場面でも使えるスキルです。高校時代でのレポートが、そういったスキルを形成する一助になっていたのかも知れないと最近感じるようになりました。

高校時代は、私は実験レポートをよく頑張って書いたつもりです。何か1つ頑張ってやったことが自分の支えになると思います。在校生の皆様も、何か1つこだわって頑張って下さい。

卒業生保護者の声

～都島工業高校の魅力と息子の成長～

息子が都島工業高校（以下、都工）に入学したとき、私は自分自身の高校生活を思い返しました。私もこの学校の卒業生であり、当時の経験が非常に良かったため、息子にも勧めました。

進路に迷っていた息子に「とりあえず見に行ってみたら？」と声をかけ、オープンキャンパスに参加させました。普通科とは異なる設備や実習内容に興味を持ち、息子は「ここで学びたい」と即決。私自身の経験からも、都工の教育は実践的で、生徒が主体的に学べる環境が整っていると感じていました。

在学中、息子が特に熱心に取り組んでいたのは体育祭のバックパネルの作成でした。工業高校ならではの技術を駆使し、大規模な作品を完成させるプロセスは、創造力だけでなくチームワークも鍛えられる貴重な経験でした。紙の上のデザインを実際の大型パネルに落とし込む工程には、多くの工夫と努力が必要であり、完成したときの達成感はひとしおだったようです。私も在学中バックパネルに携わっていました。

この高校での口頭試問を通じて、息子は物事を論理的に考える習慣を身につけました。例えば、ある実験をする際、「なぜこの方法を選ぶのか」という理由を明確にしなければなりません。普段の行動も、自分なりに、「なぜこの行動を取るのか」を論理的に考え、納得した上で実行するようになりました。社会で求められる論理的思考力を育む上で、理数工学科の教育は非常に有意義だったと感じています。

教育内容やサポート体制については非常に満足しています。何よりも、卒業後も都工での経験が息子の人生に良い影響を与え続けていることが、親としての安心材料です。

私がこの学校を卒業したことを誇りに思うように、息子もまた、都工での経験を誇りに思う日が来るでしょう。工業高校というと「普通科と違って進学に不利なのでは？」という不安を持つ方もいるかもしれません。私の妻も私が都工を勧めた時、あまり乗り気ではありませんでした。ですが、今では私と同じように都工の良さに気づいてくれています。実際には専門的な知識を学べることが大きな強みとなり、進学にも就職にも有利に働きます。

これから入学を考えている保護者や生徒の皆さんには、ぜひ一度、都工を見学し、実際に授業の様子を体験してほしいと思います。実践的な学びを通じて、技術と共に成長できる環境が整っているこの学校は、間違いなく素晴らしい選択肢です。私自身がそうであったように、そして息子もそうであったように、多くの生徒がここで学び、未来を切り開いていくことを心から願っています。

浪速工業会という同窓会の活動を通じて、都島工業高校の良さをより多くの人に知ってもらうことも、私たち卒業生の役割の一つだと感じています。これからもこの素晴らしい学校を支え、後輩たちに誇れる母校であり続けるよう、同窓生の皆さんと共に力を尽くしていきたいと思います。



LINE公式アカウント開設のお知らせ

舎密会では、今年度からLINE公式アカウントを新たに開設しました。このアカウントを通じて、同窓生の皆様に最新情報やイベントのお知らせをタイムリーにお届けします。また、舎密会の活動内容をさらに身近に感じていただく場としてもご活用いただけます。登録方法は、会報内のQRコードをご利用ください。同窓会をもっと楽しく、便利に！ぜひご登録をお待ちしております。

LINE

― 編集後記 ―

同窓会組織をより良くするために、有志が中心となって活動しています。同窓会の運営に興味がある方は、舎密会のLINE登録後に「運営活動に興味があります」とメッセージを送っていただければ、運営会議などの案内をお送りします。会議は月に1回程度、オンラインで行っており、楽しく、リラックスした雰囲気ですので、お気軽にお声がけください。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、運営活動だけでなく、クラス会などの個別活動についても、ぜひ情報をお寄せください。こうした活動内容は会報記事としての紹介にもつながり、同窓会全体の活性化に貢献すると考えております。ご協力のほどお願いいたします。

理数工学科だより

理数工学科の近況について



理数工学科長　植田　裕之

向暑の候、舎密会の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。平素は本校理数工学科の発展のために、何かとご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて今春は卒業生48名を送り出し、新たに36名の新入生を理数工学科に迎えました。

令和6年度の進路状況は表①の通りとなります。国公立大学への合格者数は2名、関西大学に3名、近畿大学に14名、甲南大学に1名、龍谷大学に2名、大阪工業大学・摂南大学に22名が合格することができました。卒業生がそれぞれの進路において成長、活躍することを期待しております。



舎密会賞受賞者

令和7年度の職員構成は表②のようになります。

理数工学科の実習指導、生徒指導を支えてくださいました白戸弘先生が、このたび成城高校へ転勤となりました。これまでの多大なるご尽力に感謝申しあげます。新転任の先生といたしましては、新規採用として近藤雄音先生をお迎えしました。各学年学級担任につきましては、3年生担任に昨年度からもちあがりで長谷川先生と淺田先生（国語）、2年担任にも同様に持ちあがりで栗田先生と三原先生（理科）、1年担任には米崎先生と田中先生（数学）の体制で新年度を迎えました。

令和6年度の3年生におきましては、勉学・部活動ともに立派な成績をのこし、充実した表情で卒業することができました。しかしながら、理数工学科では定員割れが続く厳しい状況となっております。実習を通じた学びや培った経験を生かして進学することができる理数工学科の魅力を伝え、より多くの中学生に「理数工学科で学びたい」と感じてもらえるように広報活動により一層の力をいれるとともに、これまでと変わらず在校生一人ひとりの喜びや成長に尽力するため、理数工学科の職員一同が一丸となって指導に邁進していく所存です。舎密会の皆様におかれましてもどうかお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

進路状況

進学	国公立大学 2名	静岡大学（1名）
		北見工業大学（1名）
	私立大学 述べ 54名	関西大学（3名）
		近畿大学（14名）
		甲南大学（1名）
		龍谷大学（2名）
		大阪工業大学（19名）
		摂南大学（3名）
		大阪電気通信大学（8名）
		大阪産業大学（2名）
		関西外国語大学（1名）
		獨協大学（1名）
	専門学校等	大阪デザイナー・アカデミー
		日本分析化学専門学校
		京都歯科医療技術専門学校
		ECCコンピュータ専門学校

表①

職員紹介

氏　名	主な校務分掌
植田　裕之	科　長
長谷川　健	3年a組担任
淺田　裕子	3年b組担任
栗田　優馬	2年a組担任
三原　理緒	2年b組担任
米崎　愛未	1年a組担任
田中　利幸	1年b組担任
遠藤　幸治	支援教育コーディネーター
稗田　祥之	進路指導課
井上　宣哉	生活指導課
一色美由喜	健康教育課
本田　裕也	理数工学科
近藤　雄音	理数工学科

表②

令和6年度 会務報告

幹事会を1回開催

令和6年度 事業報告

令和6年5月15日
会報43号発行

8月31日
会員懇親会
台風の影響で
中止しました。

令和7年度 事業計画

令和7年5月15日
会報44号発行

令和7年8月30日
会員懇親会開催

2024年度 収支決算書・2025年度 収支予算書

収入 科目	2024年度 予算	2024年度 実績	2025年度 予算	支出 科目	2024年度 予算	2024年度 実績	2025年度 予算
事業収入	300,000	0	300,000	事業費	300,000	0	350,000
会費収入	110,000	102,000	96,000	総務費	10,000	4,000	10,000
部会還元金	200,000	190,000	200,000	編集費	80,000	66,550	80,000
預貯金利息	0	7	0	広告費	60,000	60,000	60,000
雑収入	0	0	0	理数科後援費	150,000	112,700	120,000
				交際費	50,000	34,000	50,000
				事務通信費	5,000	1,975	5,000
				振込料金等	1,000	440	1,000
				雑費	0	0	5,000
				慶弔費	5,000	0	0
小計	610,000	292,207	596,000	小計	661,000	279,665	681,000
				剰余金	▲ 51,000	12,542	▲ 85,000
合計	610,000	292,207	596,000	合計	610,000	292,207	596,000

	2024年度予算	2024年度実績	2025年度予算
前期から繰越金	2,751,387	2,751,387	2,763,929
当期剰余金	▲ 51,000	12,542	▲ 85,000
次期繰越金	2,700,387	2,763,929	2,678,929